

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 N様邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 北九州市 八幡西区 穴生

工 期 着 手 平 成 年 月 日

竣 工 平 成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



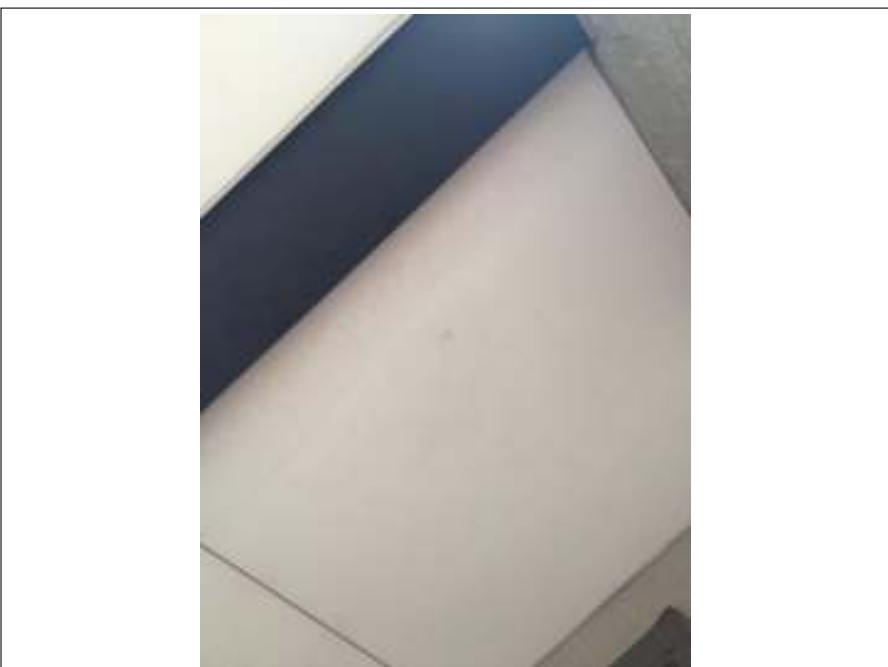
外観



破風板

経年劣化しています。

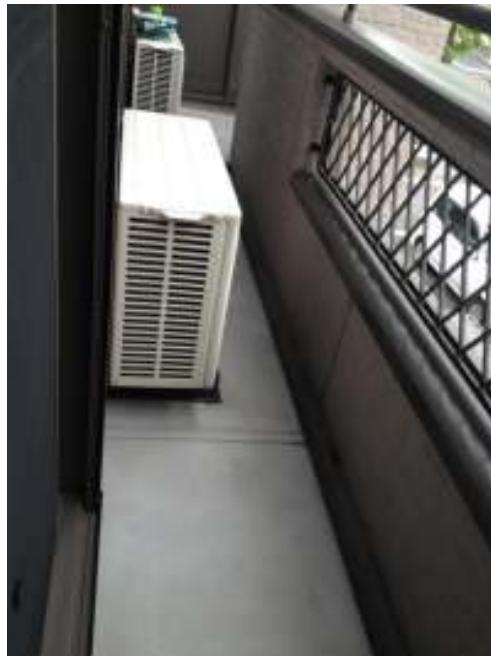
劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



軒

経年劣化しています。

この部分は、通気性の良い軒専用の塗装を二回していきます。



ベランダ防水部

現状は塩ビシート防水を使用しております。

経年劣化や下が部屋になっており雨漏れの心配もありますので、いずれは塗装か貼り替えをおこなう必要があります。



ベランダ防水部

同上



小庇

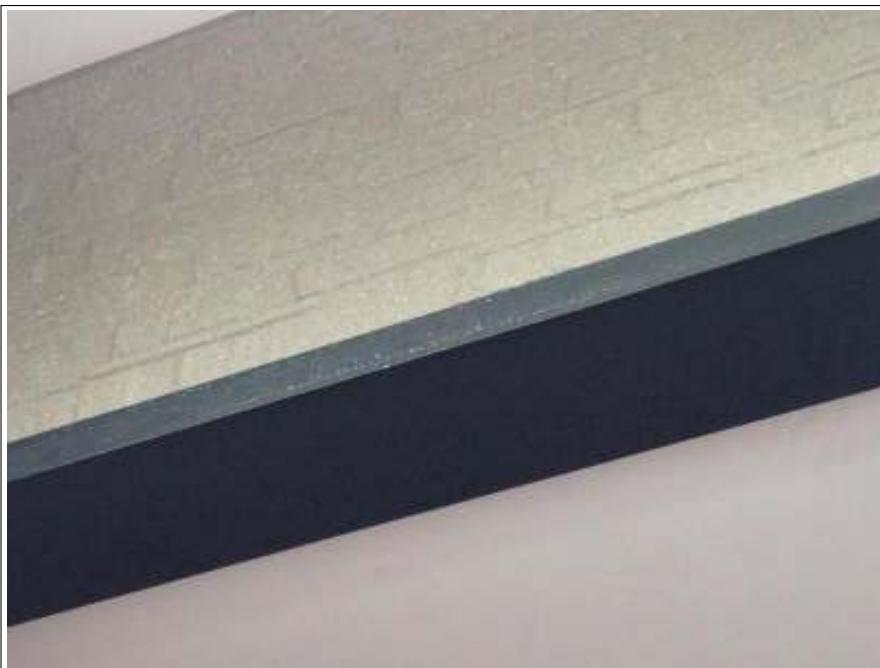
この部分は鉄、スチール素材になります。劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



シャッター

対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理をおこない、塗装をしていく必要があります。



鉄部

同上



土台水切り

同上



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。
劣化すると割れが生じたりすること
がありますので、塩ビ専用の下塗り
をおこない塗装をしていきます。



基礎クラック部

コンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性
雨と結合することにより中性化し、
クラックの発生や内部の鉄筋の腐食
が促進され、鉄筋の体積膨張により
爆裂等を起こしてしまい構造物全体
の寿命や性能低下を生じてしまいま
す。



外壁シーリング劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス
等が直接侵入し躯体・ボードの痛み
や反り、建物の寿命につながります
ので、劣化している部分はシーリン
グ打替え・打ち増しをおこない塗装
をしていきます。



外壁シーリング劣化部

劣化が見られます。

シーリングの打替え又は打増しをおこない、塗装をしていきます。



外壁シーリング劣化部

同上



外壁シーリング劣化部

同上



サッシ廻り シーリング劣化部

見落としがちですが、この部分からも雨水や湿気が侵入し外壁からの雨漏れにつながりますので、劣化している部分はシーリング打ち増しをおこない、塗装をしていきます。



外壁クラック

劣化している部分があります。この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接侵入し躯体・ボードの痛みや反り、建物の寿命につながりますので、クラックがひどくなる前の早めの塗装をお勧めします。



外壁クラック

同上



外壁カビ発生部

カビの発生が見られます。

カビの上にいくら良い塗装をしても、カビの根が残っている以上塗膜を突き破って表面化してきますので、カビの根を抑える必要があります。



外壁カビ発生部

対処方法

いくら高压洗浄をかけても、カビの根が残ってしまいますので、カビの根を殺す防カビ下塗りをおこない、下塗り・上塗り二回の三層四工程をおこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

認定証明書

外装劣化診断士

認定番号：13100230

氏名 戸高 勇樹 様

外装劣化診断士認定試験の結果、基準を満たし合格したことを証します。

平成25年11月1日



一般社団法人住宅保全推進協会